

# 第二次世界大戦期の日本の文書

Japanese Records during World War II 1942-1945

国立国会図書館憲政資料室

2007年3月PDF版作成

R 1

朝日新聞 昭和 18 年 10 月 15 日朝刊

朝日新聞 昭和 19 年 10 月 20 日朝刊

珊瑚海々戦に関する山岡大佐手記（海戦当時 Cardiv 5 (5sf) 前任参謀）

第八根拠地隊司令官金沢中将昭和十七年陣中日誌抜粋 史実調査部

大東亜戦争秘記 戦藻録 其七 戦場編 宇垣[纏]、土肥筆写

奏上書 昭和 20 年 1 月分 第一部長 [昭和 20 年 1 月 25 日]

List of Japanese Naval Vessels at the End of the War (Extracts), 25 Apr. 1947 2nd  
Demobilization Bureau

戦陣録 杉田一次参謀 昭和 18 年 3 月 17 日～6 月 4・5 日

「ニューギニヤ」主要作戦 昭和十八年度 連合艦隊司令部 「ニューギニヤ」第 2 号

ガ島ニ於ケル損耗人員調査表（昭和 18 年 2 月 17 日現在調 沖集団司令部）

ケ号作戦 「エレベント」上陸人員 第十七軍司令部 昭和 18 年 2 月 22 日

上奏案 [第十七軍司令官 百武晴吉]

「ラパール」ニ於ケル軍司令官会同ノ際ノ状況報告（要旨） 第十七軍司令部 昭和 18 年  
4 月 12 日

珊瑚海海戦（経過概要）（写シ） 井上[成美]第四艦隊司令長官手記

R. 2

標題欠 フィリピン方面作戦（主に航空関係） 昭和 19 年 10 月 11 日～12 月 23 日

R. 3

大海令綴 自第 13 号（昭和 17 年 1 月 14 日）至第 50 号（昭和 20 年 8 月 19 日）

海軍編制表 昭和 18 年 11 月 15 日現在～昭和 20 年 6 月 1 日現在

R. 4

大海指綴（其ノ 1） 昭和 17 年度 第 36 号（昭和 17 年 1 月 7 日）至第 182 号

大海指綴（其ノ 2） 昭和 18 年度前期 第 183 号（昭和 18 年 1 月 4 日）至第 255 号（昭和 18 年 6 月 28 日） 史実調査部

大海指綴（其ノ 3） 昭和 18 年度後期 第 256 号（昭和 18 年 7 月 7 日）至第 315 号（昭和 18 年 12 月 23 日） 史実調査部

R. 5

大海指綴（其ノ 4） 昭和 19 年度前期 第 316 号（昭和 19 年 1 月 15 日）至第 406 号（昭和 19 年 6 月 30 日） 史実調査部

大海指綴（其ノ 5） 昭和 19 年度後期 第 407 号（昭和 19 年 7 月 1 日）至第 496 号（昭和 19 年 12 月 23 日） 史実調査部

和 19 年 12 月 16 日) 史実調査部  
大海指綴(其ノ 6) 昭和 20 年度 第 497 号(昭和 20 年 1 月 1 日)至第 525 号(昭和 20 年 7 月 5 日) 史実調査部

R. 6

機密作戦日誌 第 4 号(「ポートモレスビー」攻略作戦準備並ニ珊瑚海々戦参加ノ部) 自  
昭 17.4.1 至昭 17.5.10 南海支隊  
機密作戦日誌 自昭和 17 年 5 月至昭和 17 年 9 月 第十七軍司令部  
大東亜戦争戦訓(航空)第 3 篇 珊瑚海々戦之部 横須賀海軍航空隊戦訓調査委員会航空  
分科会 昭和 17 年 9 月 21 日  
「ニューギニヤ」主要作戦 昭和 17 年度 連合艦隊司令部 作研「ニューギニヤ」第 1 号  
阿南惟幾日誌(自昭和 20 年 4 月至同年 8 月)  
南海支隊作命綴 自昭和 17 年 第二課  
MO 作戦ニ関スル陸海軍協定覚書 護衛艦隊指揮官 海軍少将 五藤存知・南海支隊長 陸  
軍少将 堀井富太郎 昭和 17 年 4 月 25 日  
大東亜戦争戦訓(航空)第 9 篇 邀撃作戦ニ於ケル基地航空戦之部 横須賀海軍航空隊戦  
訓調査委員会航空分科会  
第一次ニューギニヤ戦連隊戦闘行動概要 歩兵第四十一連隊 自昭和 17 年 8 月 21 日至昭  
和 18 年 2 月 6 日

R. 7

史実調査課提出の質問に対する答弁  
戦藻録 大東亜戦争秘記 其二 宇垣[纏]  
海軍大臣口述覚 [昭和 20 年]11 月 1 日(最後ノ連絡会議)  
大陸命綴 大陸命第 1351(昭和 20 年 6 月 19 日)~大陸命特第 3(昭和 20 年 9 月 13 日)  
奏上書 昭和 19 年 10 月分 第一部長  
命令指示等書類綴 憲兵隊司令部  
軍物資放出状況 内務省警保局経済保安課 昭和 20 年 9 月 24 日  
海軍公報 第 5176 号 昭和 20 年 9 月 6 日  
蘇聯参戦二伴フ綴(其 1) 江川少佐 昭和 20.8.9 超、8.20 止  
治安軍秩関係発翰綴 憲兵司令部第二課 昭和 20 年  
蘇聯参戦二伴フ綴(其 3) 江川少佐 昭和 20 年 8 月  
命令綴(第一号) 憲兵司令部 昭和 20 年 8 月

R. 8

第六基地航空部隊命令作戦綴 柴田先任参謀用 昭和 19 年 9 月 5 日  
毎日新聞 昭和 20 年 12 月 19 日  
朝日新聞 昭和 17 年 5 月 8 日、昭和 17 年 1 月 3 日  
戦時中油槽船関係諸資料 商工省商務局事務官（物動担任）田中申一八艦隊司 「ニュー  
ギニヤ」方面 自昭和 17 年 7 月至昭和 19 年□月  
大本営勤務令海軍部細則  
大本営編制・大本営勤務令  
対蘇交渉（特派全権）各案 昭和 20 年 7 月 18 日提出 軍令部出仕兼海軍省出仕高木少将  
綜合生産曲線ノ検討 平野斗作  
重要物資生産速報（昭和 20 年度第一・四半期）

R. 9 マイクロフィルムの状態が悪く判読できない部分が多い。以下はある程度判読できるもの。

大東亜戦争機密日録、交渉日録 保科善四郎  
鈴木貫太郎内閣総理大臣辞表（写） 昭和 20 年 8 月 15 日  
平和書房版『木戸日記』pp. 155～157、159 への鈴木貫太郎による書き込み  
機動部隊ノ作戦ニ関聯機動艦隊編制軍隊区分ニ対スル所見 第一機動部隊機密第 110 号  
昭和 19 年 9 月 10 日 第一機動部隊司令部  
終戦に際して 東郷茂徳  
覚 捷号作戦記録 昭和十九年八月以降  
覚 2AF 其ノ1 柴田少佐 昭和 19 年 7 月  
奏上書 昭和 19 年 12 月分 第一部長  
第二十三師団（旭兵团）隷下部隊行動概要 第十四方面軍残務整理部旭兵团主任者 昭和  
23 年 3 月  
終戦関係令指事項 昭和 20 年 8 月 26 日  
日誌 海軍大臣官房 自昭和 20.8.1 至昭和 20.8.28

R. 10 マイクロフィルムの状態が悪く判読できない部分あり

[高木惣吉 終戦関係覚え書]

R. 11

第十四方面軍命令綴 所有者 元第十四方面軍参謀副長・陸軍少将 小沼治夫  
[高木惣吉 1937 年以後の日本の政治活動 覚え書]

R. 12

天一号航空作戦戦闘詳報 自昭和 20 年 3 月 20 日至昭和 20 年 6 月 20 日 第八飛行師団司令部 昭和 20 年 7 月 31 日  
昭和 21 年春頃ヲ目途トスル情勢判断 大本営陸軍部 昭和 20 年 7 月 1 日  
北野憲造日誌 バタアン・コレヒドール攻略 昭和 17.1.1~5.20  
軍令部作戦日記(佐籙日記抜粋) 自昭和 18 年 5 月 26 日至同年 11 月 10 日

R. 13 マイクロフィルムの状態が悪く判読できない部分あり。以下はある程度判読できるもの。

各大臣動静綴 昭和 20 年 7 月 - 8 月 政治係  
連合軍司令部回答書類綴 史実調査部 昭和 21 年 3 月 21 日 第 3 号(1)  
決号戦備綴雑件 海軍航空本部総務部長  
南西方面作戦 史実調査部長  
比島方面作戦綴 第二復員局  
終戦時の記録 池田純久  
御前会議(20-8-9)宮中防空壕ニ於テ 海軍省軍務局長 保科善四郎  
運輸成績統計年報 昭和 19・20 年度 運輸省鉄道総局総務局  
国有鉄道陸運統計 昭和 18 年度 運輸省鉄道総局総務局  
日誌 大井篤  
作戦間のノート 陸軍大佐 志鶴林蔵  
昭和二十年度物資動員計画 第一・四半期実施計画  
第十四方面軍命令綴 元第十四方面軍参謀副長・陸軍少将 小沼治夫

R. 14

第五十一師団戦闘詳報 「フエ」「サフモア」附近ノ戦闘 期自昭和 17.10.27 至昭和 18.9.14 間  
海軍大臣官房日誌 自昭和 20.8.1 至昭和 20.8.28

R. 15

[海軍大臣官房日誌 自昭和 16 年 10 月 1 日至昭和 20 年 7 月 31 日]

R. 16

陣中日誌 自昭和 18 年 5 月 26 日至同年 10 月 31 日 南東支隊司令部  
雑記帳 自昭 18.8.15 至 19.7.31 [元第一師団参謀長] 北山正次  
備忘 昭和 20 年 1 月 26 日至昭和 20 年 9 月 船工八 岡林諄吉大佐  
第三十三特別根拠地隊戦闘経過概要 志柿謙吉先任参謀 昭和 19 年 8 月 (第三十三特別

根拠地隊戦闘ノ情况別冊)

第五十七軍終戦記録 鋒特設司令部 昭和 20 年 11 月 30 日

第八十六師団戦史資料

船舶動静 昭和十八年度(1、2、3月分) 船舶課 英語では5月

輸送報告抜粋綴 船舶管理部 参考 12

輸送報告抜粋綴 船舶管理部 参考 5

輸送報告抜粋綴 船舶管理部 参考 10

R. 17

第二次「バタン」攻略戦戦闘詳報 自昭和 17 年 3 月 20 日至昭和 17 年 4 月 11 日 第一砲兵司令部 昭和 17 年 6 月 (戦闘詳報第 3 号)

当用日記 船工八 八木軍医 自昭和 18.1.1 至 18.1.31

大東亜戦争戦訓(航空)第四篇附録 海軍戦闘戦訓調査委員会(航空分科会) 昭和 17 年 10 月

第十四方面軍司令部バンバン派遣班発着信綴(抜粋) 自昭和 20 年 1 月至昭和 20 年 3 月 所有者バンバン派遣班長 小沼少将

作戦覚 自昭和 19 年 12 月至昭和 20 年 5 月 第十四方面軍参謀副長 少将小沼治夫

戦況手簿 [大本営陸軍部作戦課附大尉 高橋金治]

R. 18

遺言 井田正孝

作戦関係書類 歩一四四

大東亜戦争戦訓(航空) 布哇海戦ノ部 第 1 篇 横須賀海軍航空隊戦訓調査委員会航空分科会

「ニューギニア」主要作戦 昭和 17 年度 連合艦隊司令部 作研「ニューギニア」第 1 号 戦友日記 船工八 伊藤[タケオ]中尉

ルソン島作戦に於ける教訓並に経過の概要 大本営陸軍部 昭和 20 年 3 月 25 日 戦訓特報第 44 号

治安軍秩関係発翰綴 憲兵司令部第二課 昭 20 年

編合部隊概見表 昭和 19 年 8 月以降 参謀本部第三課調査班

R. 19

帝国海軍戦時編制改定 [自]昭和 17 年 5 月 1 日[至]昭和 19 年 12 月 31 日 軍令部第一課

大東亜戦争経過概要 [自]昭和 17 年 10 月 1 日[至]昭和 18 年 1 月 31 日 史実調査部

大東亜戦争経過概要 [自]昭和 18 年 2 月 1 日[至]昭和 18 年 8 月 14 日 史実調査部

R. 20

Five Broadcasts of Col. Mashibir from Manila      ローマ字表記

奏上書 昭和 19 年 12 月分 第一部長

[ 豊田海軍軍令部長宛東郷外相メモ ] 昭和 20 年 7 月 2 日

聖慮ノ要旨 昭和 20 年 8 月 17 日

空襲災害状況一覧表 警視庁総務部文書課記録係 昭和 24 年作成

奏上書 昭和 20 年 1 月分 第一部長

天一号航空作戦戦闘詳報 自昭和 20 年 3 月 20 日至昭和 20 年 6 月 20 日 第八飛行師団司令部 昭和 20 年 7 月 31 日

硫黄島沖繩比島本土作戦 史実調査部長

連合軍司令部回答書類綴 航空第一号 史実調査部

帝国陸軍航空部隊 飛行機ノ補給損耗ニ関スル統計(陸軍航空部隊保有状況一覧表) 陸軍航空本部 昭和 20.11.15

昭和 21 年春頃ヲ目途トスル情勢判断 大本営陸軍部 昭和 20 年 7 月 1 日

新次官ニ対スル状況報告要旨 陸軍軍務局 昭和 20 年 7 月 20 日

昭和 20 年度物資総動員計画 第二・四半期実施計画 軍需省 昭和 20 年 6 月 30 日

時局ニ関スル重臣奉答録 昭和 20 年 2 月

読売報知 昭和 20 年 8 月 11 日

毎日新聞 昭和 20 年 4 月 8 日、9 日、7 月 28 日、30 日

朝日新聞 昭和 20 年 4 月 7 日ほか

Nippon Times, 7 April 1945.

Japan Times and Adviser, 20 March 1942.

[ 外務省電報 ] ベルン発 加瀬公使 東郷大臣宛 昭和 20 年 8 月 11 日

朝日新聞 昭和 20 年 8 月 22 日

朝日新聞 昭和 20 年 9 月 3 日

朝日新聞 昭和 20 年 6 月 4 日

読売報知 昭和 20 年 9 月 3 日

Nippon Times, 9 September 1945.

朝日新聞 昭和 20 年 9 月 3 日

読売報知 昭和 20 年 8 月 17 日

読売報知 昭和 20 年 8 月 18 日

読売報知 昭和 20 年 8 月 23 日

読売報知 昭和 20 年 8 月 31 日

読売報知 昭和 20 年 9 月 12 日

読売報知 昭和 20 年 8 月 24 日

R. 21

- 関東軍 [ 編制表 ]
- 関東防衛軍 [ 編制表 ]
- 関東軍補給監部 [ 編制表 ]
- 支那派遣軍 [ 編制表 ]
- 北支那方面軍 [ 編制表 ]
- 駐蒙軍 [ 編制表 ]
- 南方総軍 [ 編制表 ]

R. 22

- [ 緬甸方面軍 編制表 ]
- 香港占領地総督部 [ 編制表 ]
- 第一方面軍 [ 編制表 ]
- 第三方面軍 満洲「チチハル」[ 編制表 ]
- 第五方面軍 北海道（札幌）[ 編制表 ]
- 第六方面軍 [ 編制表 ]

R. 23

- 第七方面軍 [ 編制表 ]
- 第八方面軍 [ 編制表 ]
- 第十方面軍 [ 編制表 ]
- 第十一方面軍 [ 編制表 ]

R. 24

- 第十二方面軍 [ 編制表 ]
- 第十三方面軍 [ 編制表 ]
- 第十四方面軍 [ 編制表 ]

R. 25

- 第十五方面軍 [ 編制表 ]
- 第十六方面軍 [ 編制表 ]
- 第十七方面軍 [ 編制表 ]
- 第十八方面軍 [ 編制表 ]
- 第一軍 [ 編制表 ]
- 第二軍 [ 編制表 ]



第三軍 [ 編制表 ]

R. 26

第四軍 満洲「孫呉」[ 編制表 ]

第五軍 [ 編制表 ]

第六軍 支那「杭州」[ 編制表 ]

第十一軍 支那「栖州」[ 編制表 ]

第十二軍 北支「鄭州」[ 編制表 ]

第十三軍 支那「上海」[ 編制表 ]

R. 27

第十五軍 南方「ビルマ」[ 編制表 ]

第十六軍 南方「ジャワ」[ 編制表 ]

第十七軍 南海 [ 編制表 ]

第十八軍 濠北 [ 編制表 ]

第二十軍 支那「南支衡陽」[ 編制表 ]

第二十三軍 支那「南支広東」[ 編制表 ]

第二十五軍 南方「スマトラ」[ 編制表 ]

第二十八軍 南方「ビルマ」(ブローム)[ 編制表 ]

第二十九軍 南方「馬來」 [ 編制表 ]

第三十軍 [ 編制表 ]

第三十一軍 南部太平洋

R. 28

第三十二軍 沖縄 [ 編制表 ]

第三十三軍 南方「ビルマ」[ 編制表 ]

第三十四軍 支那「漢口」[ 編制表 ]

第三十五軍 南方比島 [ 編制表 ]

第三十六軍 内地(東部)[ 編制表 ]

第三十七軍 南方「ボルネオ」[ 編制表 ]

第三十八軍 南方「仏印」[ 編制表 ]

第四十軍 台湾 [ 編制表 ]

第四十一軍 南方比島 [ 編制表 ]

第四十三軍 北支 [ 編制表 ]

第五十軍 [ 編制表 ]

第五十一軍 [ 編制表 ]

R. 29

第五十二軍 [ 編制表 ]  
第五十三軍 [ 編制表 ]  
第五十四軍 [ 編制表 ]  
第五十五軍 [ 編制表 ]  
第五十六軍 [ 編制表 ]  
第五十七軍 [ 編制表 ]  
第五十八軍 [ 編制表 ]  
第五十九軍 [ 編制表 ]  
航空總軍 [ 編制表 ]  
第一航空軍 [ 編制表 ]  
第二航空軍 [ 編制表 ]

R. 30

第三航空軍 [ 編制表 ]  
第十四方面軍隷下航空部隊 [ 編制表 ]  
第五航空軍 [ 編制表 ]  
第六航空軍 [ 編制表 ]  
第五方面軍隷下第五飛行師団 [ 編制表 ]  
第十方面軍隷下第八飛行師団 [ 編制表 ]  
第一總軍 第二總軍 其ノ他部隊 [ 編制表 ]  
北部軍管区 [ 編制表 ]  
東北軍管区 [ 編制表 ]  
東部軍管区 [ 編制表 ]

R. 31

東海軍管区 [ 編制表 ]  
中部軍管区 [ 編制表 ]  
中国軍管区 [ 編制表 ]  
四国軍管区 [ 編制表 ]  
西部軍管区 [ 編制表 ]  
朝鮮軍管区 [ 編制表 ]  
台湾軍管区 [ 編制表 ]  
東京防衛軍 [ 編制表 ]  
小笠原兵団 [ 編制表 ]  
内地鐵道司令部 [ 編制表 ]

船舶司令部 [ 編制表 ]  
憲兵司令部 [ 編制表 ]  
陸軍大臣直轄部隊 [ 編制表 ]

R. 32

参謀本部 [ 編制表 ]  
教育總監部 [ 編制表 ]  
陸軍航空本部 [ 編制表 ]  
航空未動員部隊 [ 編制表 ]  
軍令二依り計画セラリアル半未動臨時動員部隊 [ 編制表 ]  
復歸（復員閉鎖）部隊 自昭和 20 年 5 月至昭和 20 年 [ 9 月 ] [ 編制表 ]  
主要部隊略歴表（師団ノ部）  
主要部隊略歴表（旅団ノ部）  
編合部隊概見表 昭和 19 年 8 月以降 参謀本部第三課調査班

R. 33

単一部隊概見表 昭和 19 年 8 月以降 参謀本部第三課調査班  
戦闘序列、年度別動員兵力一覽表 編制（動員）管理官一覽表 第一復員省総務課 昭和  
20 年 12 月

R. 34

民族保衛省装甲戦車及機械化部隊 戦闘訓練綱領 第 2 冊 戦車及自動砲区分隊及部隊  
朝鮮民主主義人民共和国民族保衛省総参謀部 [ 朝鮮語 ]